

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 5688
部 名	保健所	課 名	保健予防課	課長名	原 修
事務事業名	エイズ予防対策事業				
予算上の事務事業名	エイズ予防対策事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12220		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施策名	第2施策 保健サービスの充実				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	さがみはら健康プラン21		個人、家庭、地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するための施策等について計画するもの。		
計画年次	14	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象 (誰、何)				
HIV感染の予防及びエイズ患者やHIV感染者に対する差別、偏見の解消を図るため、エイズに関する正しい知識の普及啓発を図る。				市民全般	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
○エイズ予防講演会の開催 平成18年3月8日実施 内容「HIV/AIDSの現状」 参加者 34名 ○エイズ予防啓発用冊子の配布 ○各種イベント等におけるエイズ予防啓発コーナーの開設 「市民桜まつり」・「麻布大学学園祭」 ○保健所保健師による予防教育 平成17年度 9回実施 (市内中学校等にて実施) ○世界エイズデーかながわに参画					
6 関連・類似事業や他市の状況	他の自治体も同様な目的で実施している				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,750	1,570	1,609	1,457	1,457
一般財源	875	785	805	729	729
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	875	785	804	728	728
人件費の合計	2,626	2,645	2,628	2,628	2,628
事業コスト合計	4,376	4,215	4,237	4,085	4,085
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	エイズ予防講演会			対象名称 と単位	受講者数 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	194	99	98	128	128
対象数	12	44	34	70	80
単位あたり経費(円)	16,167	2,250	2,882	1,829	1,600
前年度比		0.14	1.28	0.63	0.88

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	受講人数（人）	指標式と指標の説明	受講者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	12.0	44.0	34.0		
目標	50.0	50.0	50.0	70.0	80.0
目標達成度（%）	24.0	88.0	68.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	普及啓発度（%）	指標式と指標の説明	検査実施目標数/受検者数*100 検査普及率		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	80.5	80.2	72.4		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	80.5	80.2	72.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		国内のHIV感染者、エイズ患者の増加は著しいため、多くの市民に予防啓発を行う必要がある。今後も啓発イベントや講演会を実施し、エイズに対する正しい知識の普及を図りたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
市民全般を対象にエイズに関する正しい知識の普及に努めることに加え、個別施策層（特に青少年）に対し正確な情報と知識を効果的な媒体により提供していく。			青少年への普及啓発及び教育を行うに当たっては、教育委員会との連携が重要。普及啓発及び教育を行う職員の育成。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			